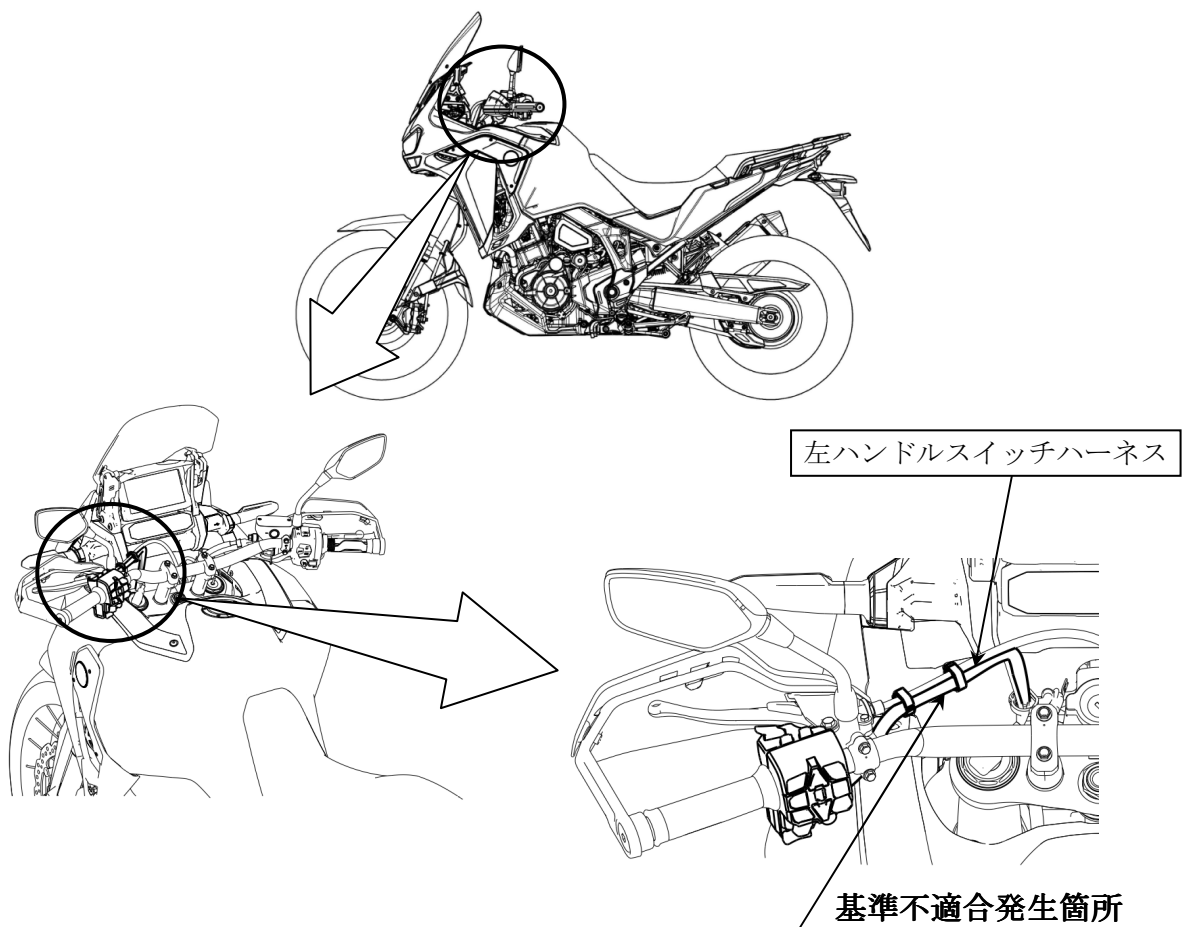


改善箇所説明図



電気配線において、左ハンドルスイッチハーネス電線間の端子かしめが不適切なため、ハンドル転舵操作によるハーネスの摺動が繰り返されると、端子のかしめ部が摩耗することがある。そのため、そのまま使用を続けると、かしめ部が酸化して抵抗値が高くなり、警音器が吹鳴しない、走行用前照灯が点灯しないおそれがある。

改善の内容

全車両、電線間に端子かしめがない左ハンドルスイッチハーネスの対策品と交換する。なお、対策品の供給に時間を要することから、暫定措置として、左ハンドルスイッチハーネスの配索を変更し、部品準備が整い次第、改めて案内し対策品と交換する。

暫定措置	対策
固定バンド クラッチケーブル 左ハンドルスイッチハーネス ハンドルバー	クラッチケーブル 左ハンドルスイッチハーネス

注： は交換部品を示す。

 は追加する部品を示す。

識別：車台番号打刻部付近に黒色四角の識別ラベルを貼付する。